

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 選挙-03 市長選挙執行事務						
主管課	選挙管理委員会事務局	関連課					
分野名	市民自治						
目標 (目標値)	市長選挙の執行						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	148,103人					
運営資源状況	決算値(千円)	40,551					
	(国・県)	0					
	(負担金等)						
	(一般財源)	40,551	0	0			
	人員配置数	1.2人					
	人件費(千円)	10,996					
事務事業 運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	51,547	0	0			
	市民1人当りの経費(円)	290	0	0			
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	対象者1人当りの経費(円)	348					
	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
		目標値					
		実績値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
市長選挙執行事務	38,436	—	—	今後の方向性	B	理由・手法	更なる財源が不要となる手法で投票環境の向上を目指す。
選挙運動用ポスター作成等負担金	2,115	—	—	今後の方向性	B	理由・手法	今後も適切な事務執行を行う。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	投票環境の向上、選挙事務の効率化										
課題解決のための取組	・当日投票管理システムの導入により、投票所において名簿照合の待ち時間の短縮、また前回の同選挙と比較して投票事務で188人の人員削減など、投票環境に大きな効果があった。 ・投票用紙読み取り分類機の反転ユニットを事業者から借用し、57分という短時間で開票を確定した。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	投票区域の見直し、選挙事務の効率化、投票所施設のバリアフリー対策										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	・開票事務について、配置の工夫や投票用紙読み取り分類機の拡充などを行い、より正確で迅速な事務処理とした。 ・投票所施設のバリアフリー化に向けて、代替施設の検討や手すり・スロープの設置など、投票所環境の見直しを行いたい。							➡	B	※□事業完了	

評価者名

選挙管理委員会事務局長

渡邊 好二

